

北海道駒ヶ岳

1 概況（平成 14 年 7 月）

7 月 16 日、山体のやや深いところを震源とする地震が発生し、森町姫川で震度 1 を観測しました。噴煙活動は引き続き弱く地殻変動にも特別な変化は認められませんが、今後も火山活動の推移を注目する必要があります。

2 噴煙活動の状況

遠望カメラでは昭和 4 年火口の噴煙は観測されず、噴煙活動は低いレベルが続いています。

3 火口・地熱地帯の状況

7 月 9～13 日に全磁力観測*を実施しました。昨年 10 月と比較して、山体内部で顕著な熱消磁を示すデータは認められませんでした。噴煙活動が弱い状態であることと併せ、現段階では山体浅部の熱活動は落ち着いているものと考えられます。

*全磁力観測の概要については防災メモをご覧ください。

4 地震活動の状況

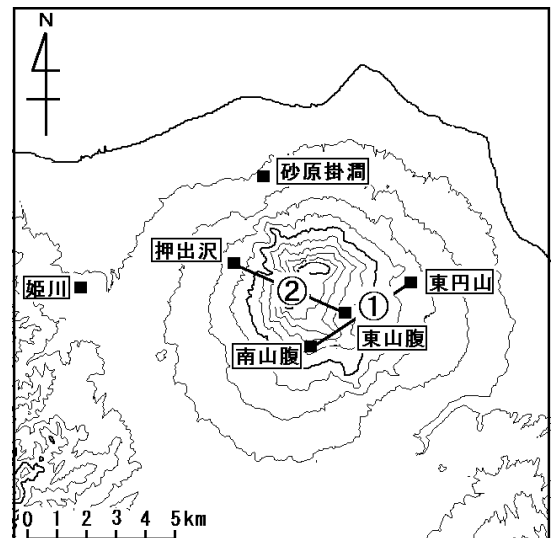
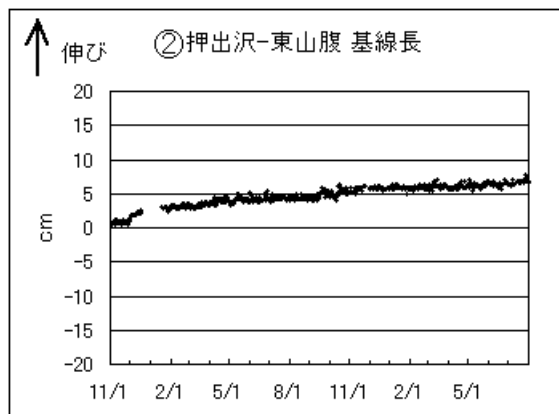
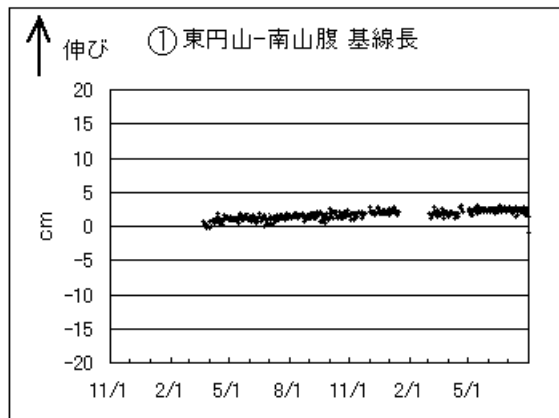
16 日 15 時 26 分頃、渡島支庁東部で地震があり森町姫川で震度 1 を観測しました。詳細な解析の結果、この地震は山体北部のやや深いところ（深さ 10km 程度）で発生したことがわかりました。山頂火口原浅部の小さな地震は少ない状態が続いていますが、今年 2 月～3 月の活動につづき、またやや深い地震が発生したことから、今後の推移を見守る必要があります。火山性微動は観測されませんでした。

月別地震・微動回数（A 点）

平成 13～14 年	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
地震回数	1	1	2	1	0	1	10	7	1	1	1	1
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

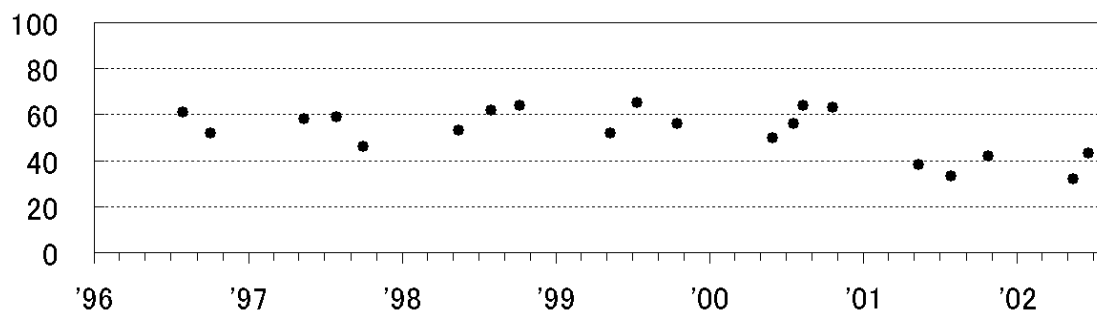
5 地殻変動の状況

G P S 観測では、火山活動に起因すると考えられる特別な変化はありませんでした。

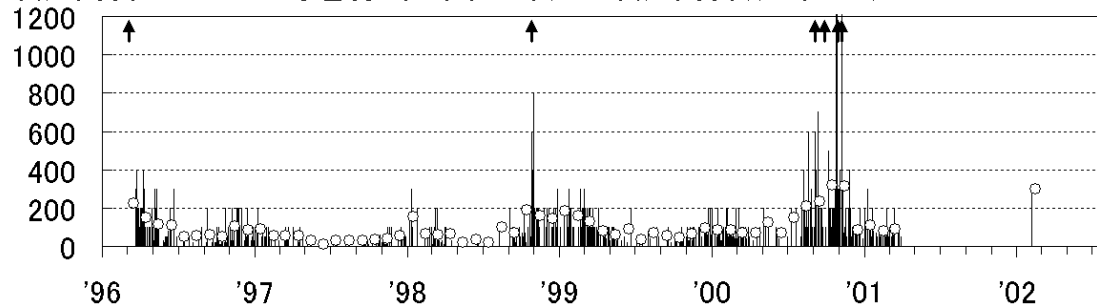


北海道駒ヶ岳基線長グラフ（2000 年 11 月 1 日～2002 年 7 月 31 日）

温度(°C) 北海道駒ヶ岳昭和4年火口温度(赤外放射温度計による)



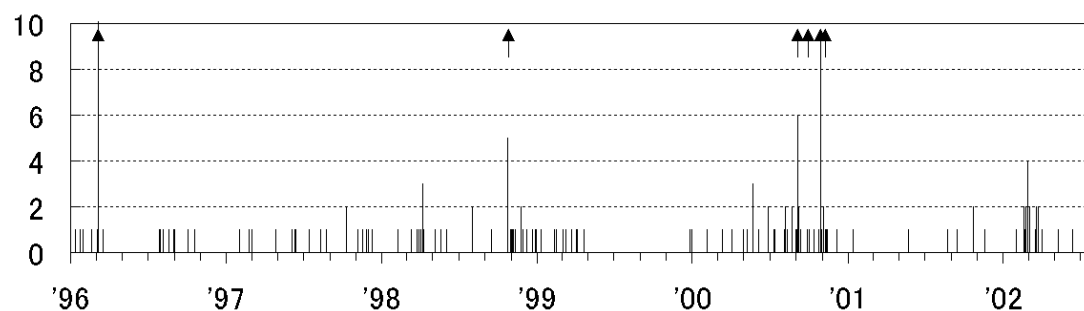
噴煙高度(m) 北海道駒ヶ岳昭和4年火口噴煙高度(鹿部カメラによる)



噴煙高度の棒グラフは定時観測(09・15時)の日最大、○印はその月平均

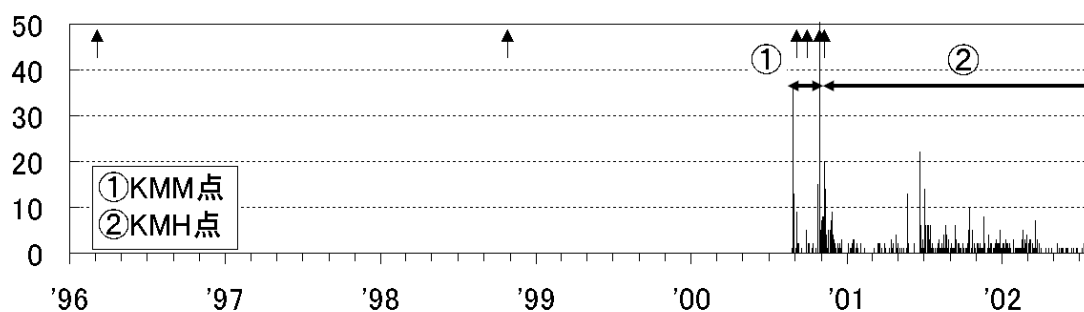
日別回数

北海道駒ヶ岳日別地震回数



日別回数

北海道駒ヶ岳山頂臨時点の地震回数



北海道駒ヶ岳火山活動経過図(1996年1月1日～2002年7月31日) ↑印は噴火